

主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 9

その霊を飲んでからだ・キリストとなり、
霊と真実の中で御父を礼拝することによって、神聖な分与を経験する

聖書：I コリント 10:4, 12:12-13. ヨハネ 4:14, 23-24

I. 神聖なエコノミーにしたがった神聖な分与を経験しようとするなら、わたしたちはみな同じ霊の飲み物、すなわち、命を与える霊としてのキリストを飲む必要があります——I コリント 10:3-4, 12:13 :

A. I コリント第 10 章 4 節における霊の飲み物は、裂かれた岩から流れ出た生ける水を指しています。この岩は、十字架につけられ復活したキリストを予表し、この水は、わたしたちのすべてを含む飲み物としてのその霊を予表します——出 17:6. ヨハネ 7:37-39. I コリント 12:13。

B. 霊の飲み物、生ける水は、復活における命の水です。わたしたちは復活における命の水を飲むとき、復活における人、復活の人となります——10:4. ヨハネ 14:20. II コリント 1:9。

C. わたしたちが命を与える霊としてのキリストから飲むことによって、神はご自身をわたしたちの中へと造り込みます。それは、飲むことによって、わたしたちが主を取り入れ、彼が有機的にわたしたちと一となって、わたしたちの命また構成要素となるからです——I コリント 10:4. コロサイ 3:4, 10-11。

II. わたしたちは、団体のキリストの中で、団体のキリスト、すなわちからだ・キリストのためにその霊を飲むことによって、神聖な分与を経験します——I コリント 12:12-13 :

A. キリストはかしらとからだの両方です——コロサイ 1:18. 2:19 :

1. キリストはかしらとからだの両方であるので、からだ・キリストです。
2. キリストがからだ・キリストであることは、彼がもはや単に個人のキリストではないことを意味します。彼はまた団体のキリストでもあります——マタイ 16:18. I コリント 12:12. 使徒 9:4-5。

3. キリストには個人の面と団体の面があります。個人的に彼はキリストであり、団体的に彼はからだ・キリストです。

B. キリストに対する最高の享受は、団体のキリスト、からだ・キリストに対する享受です。キリストをからだ・キリストとして享受することは、単に一つの面で彼を享受することではなく、その霊を飲むことによって、豊満においてすべてを含むキリストを享受することです——コロサイ 2:9. I コリント 12:13。

C. I コリント第 12 章 12 節は言います、「それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです」:

1. この節の「キリスト」は個人のキリストではなく、団体のキリスト、すべての肢

体と合併されたキリストです。

2. 団体のキリストは、かしらとしてのキリストご自身と、彼のからだとしてのすべての信者を伴う召会から構成されています—— 11:3. 12:12, 27。

D. 「なぜなら」という言葉によって示されるように、I コリント第 12 章 13 節は 12 節の継続、定義、説明です：

1. すべての肢体は一つからだであり、このからだはキリストです。なぜなら、わたしたちはみな一つ霊の中で、一つからだの中へとバプテスマされたからです—— 13-14, 24, 27 節。
2. わたしたちは、キリストのからだの多くの肢体として、一です。なぜなら、わたしたちはその霊の中でバプテスマされたからです—— 13 節：
 - a. わたしたちがその中でバプテスマされたその霊はキリストです。キリストは命を与える霊と成りました—— 15:45 後半. II コリント 3:17。
 - b. わたしたちはみなからだの中に置かれて、一つ霊、命を与える霊、すなわちキリストを飲みました。今や、わたしたちはからだの中にいるので、この一つ霊、すなわちキリストご自身を飲む必要があります—— I コリント 12:13。
 - c. 最終的に、わたしたちはその霊によって満たされ、あふれ、浸透され、浸潤されます。ですから、わたしたちは一つからだとして互いに一であり、またキリストと一です。一つからだはキリストご自身です—— 6:17. 12:12。
 - d. その霊は、キリストご自身であり、からだ・キリストとなります—— II コリント 3:17. I コリント 15:45 後半. 12:12-13。
 - e. わたしたちは召会の中で、からだ・キリスト、すなわち、からだの中の命を与える霊であるキリストを飲む地位にあります—— 13 節. 15:45 後半。

III. わたしたちはその霊を飲むことによって、真の礼拝者となり、霊と真実の中で御父を礼拝することができます——ヨハネ 4:14, 23-24：

- A. 父なる神に対する真実な礼拝は、霊と真実の中にあります。わたしたちの中へと構成された神聖な実際は真実となり、わたしたちは真実の中で、御父が求めている礼拝をもって御父を礼拝します—— 23-24 節。
- B. ヨハネ第 4 章の主の言葉は、神聖な三一の分与の中で御父を礼拝することを見せています：
 1. 主が語った礼拝は、御子の中とその霊の中での御父に対する礼拝です。これは神の分与における礼拝、神聖な分与による礼拝です——エペソ 2:18. 3:14-21。
 2. わたしたちは真の礼拝を持つとするなら、神聖な三一における神がわたしたちの存在の中へと分与されることを必要とします—— II コリント 13:14。
 3. 神の分与の中で御父を礼拝することは、生ける水を飲むことと関係があります——ヨハネ 4:10, 14：
 - a. わたしたちの霊をもって霊なる神と接触することは、生ける水を飲むことであり、生ける水を飲むことは、真の礼拝を神にささげることです—— 24 節。
 - b. わたしたちは神の分与の中で御父を礼拝するために、その霊から飲む必要があります。それは、神がご自身をわたしたちの存在の中へと分与することができるためです—— 14 節. I コリント 10:3-4. 12:13。

4. わたしたちは神聖な三一の神聖な分与を経験すればするほど、ますます御父が求めているような礼拝者となり、そのような礼拝をします。それは神の分与における礼拝、霊と真実の中の礼拝です——ヨハネ 4:10, 23-24。

©2014 Living Stream Ministry